

たわごと

五十年入学 稲賀繁美

○七徳堂問題。幸い何の予告もなく、つぶすという話は白紙撤回となったものの（甘かったか）、途中の部としての対応いろいろ疑問あり。だいたい四ツ谷の東京ガスのナントカ会館（？）といった場所で会議を持つというのがわからない。なぜ空手部のように七徳堂の屋根の下で談判に及ばざるか。そうすれば、これがつぶれてはオレたちは下敷になって死んでしまうーと少しは深刻になれたでしょうに。第一步から、自分に無関係なやかいかいごとにはまきこまれまいとする、現代の風潮が無意識の裏に顔をのぞかせている。―なぞという権利は末席さえ汚しそになった筆者にはないのだが、うかつにも四ツ谷の駅で下車して交番で尋ねても、ガソリン・スタンドのことかいと、けんもほろろの対応で、一時間以上あたりを右往左往するはめになった。バカな方向音痴のや

つあたりゆえ、四ツ谷ナントカ会館（？）さん、おこらないでね。七徳堂のかわりにつぶそうってんじゃないから。

○神棚の話。前赤門はこの一件について思わぬ紙上論争もちあがり楽しかったのです。ただ、現在の入部者は必然的に至誠館の門人であるゆえ、当然神棚に礼をする人しか合気道部員（少なくともここ十年位の）ではない、という事実はあるのです、と、一言確認しておきたかったまで。ただし、入部時には黙っておいて、しばらくして、入門願を提出させるという、今の入部手つづきは、最近の入部者の一部には反感を買っているようです。今年はそれで一人退部しました。もっとも空手部なんぞは、入門を前提とした入部になるし、少林寺もお寺さんの規律に従うことになるので（キリスト教徒の少林寺拳士なんているのかな？）一元化された柔道や剣道は別としても、ウチだけ、無償で合気が教えてもらえる、という認識を持つ事の方が妙なのかもしれません。大っぴらに、至誠館入門を前提として入部者をつのる、とした方が、部の為にも、至誠館の事務上でも、良いのではないのでしょうか。○至誠館の事務のこと、というのは、要するに、ウチの学校のように入退部自由、でやっていると、四月に至誠館の一年分の研修費を払わないわけで―秋まで「新入部員」の数が確定できぬ、という妙な理由ゆえ―いつでも年末（11年度末―至誠館の）に入門費（これはもっと早かったかな？）と一年分（しっかり、その年の一月にさかのぼって十二ヶ月分徴集）を払っているわけで

あります。他校に比べて特権的なルーズさゆえ、いつでも至誠館の事務の方々に苦い思いをさせているわけで、これはまずい。五月位でしっかり入部する気か否かはっきりさせて、今の子供たちのおとくいのモラトリアム期間は、なるだけ短かくさせましょう。ろくに出席もしない幽霊入門者なんて、道場に対しても失礼、本人も出費のムダです——みんなバイトでビービーしてるくせに。そうして、こっち側の態度もはっきりさせた上で、至誠館の大学入門者に関する規定も明確にしていだくようにすべきでしょう。ただでも出席の悪い東大だけ妙な特例をもらって——不文規で？——いるのは良くありません。

稽古の出席がルーズになってきたのはここ五年位の傾向で、稽古不足うんぬんなんぞ今さら繰り返す言いたくありません。毎春秋になると、本郷も駒場も、これじゃ部やあらへん、同好会以下や、と熱心な幹部を中心に、手遅れになってから、後手とは知りながら、急に危機感をあおりはじめることになるのもここ四、五年見飽きてきた光景ですが、それで例年問題になるノルマ etc の制度化案、もう救いようがありません。

現代人、ノルマなければ、猫より不精。まあ猫は決して不精だとは思いませんが。とにかくノルマ・ノルマでがんじがらめにならなければ、これっぽっちも働かない、そしてたまにノルマがなくなると無為にすごして、普段の圧迫からくる緊張に釣り合うべき消極性に埋没する今の人たち。そこにもってきて、クラブもノ

ルマになっちゃったら、もうおしまいです。しかし正直なところ幹部以外はノルマだから練習やっている、というフゼイだし、一方幹部は幹部で、その肩書のしからしむるところ、止むを得ずノルマを果してうちに、クラブがあるから練習するのはウソだ、稽古は自分でするものだ、という悟りに達するという「実蹟」がありますから、ノルマというのがあるまいが、やりたくなれば自ません。本当はノルマがあろうがあるまいが、やりたくなれば自分からしかるべき場を創るなり、場を創るのにあずかって、稽古をして行くべきなのでしょうが、まあ、そうやってるのはヒマなOBぐらいで。それにしても十一時四十分になるまで部室で雑談をしてるぐらいなら、なんですぐ体育館に行かないのかなあ、とはこのごろ十一時四十分をすぎても部室で眠っていたい、寝不足気味の夜行性動物のたわ言です。私なぞまだOBなりたてなのに、その場はつくろえても長期戦はからっきしだめで、昼練のお蔭でかろうじてもってようなものでノルマもないよりましの見本ですが。

それにしても現代の都会人というのは、いっしょうけんめい好きでもないのに自分をがんじがらめにしないと安心できないよう。自由時間を渴望していながら、自由という虚無が恐いし、たまに与えられる自由はうまく使えない。下手に自由なんて手に入れると、かえって自分を囲んで縛っていかれる現実そのものががらがらと崩壊して自分の存在の基盤まで失ったようになり、気

が違つてしまいかねない、ひ弱な働き中毒なのですね。何でもすぐ手に入るような社会になつてしまつたために、自分から求める苦勞を忘れちまつて、そのくせまわりが自分に全てを得させてくれないと不安でしようがない。かくして教養講座が繁榮するわけです。そして今の部活動の何と教養講座的なこと。否知識欲に關してはそれ以下かな。なにせ生まれて今まで体で覚えるという行動様式を發達させない教育を二十年も受けてきてはね。

とにかく、何でも教えてもらえろと思つてこの消極性。そして二年になると突如家庭教師の豊かな經驗を生かして、自分のきわめつくしてもいないことを、自信たっぷりといった様子で、下級生に教えはじめ。当然ボロの出ないように相手の細かいところばかりケチをつけているという態になるのはいたしかたないにしても、これがまあペチャクチ、ペチャクチ、手とり足とり、幼稚園の先生じゃあるまいし、野球の解説者じゃあるまいし、なんともヤサシイお兄さんぶりなのです。はたで見ていて赤面しちゃいますね。それはとにかく、その社会全体のビュロークラシー化の弊害のなせるわざか、冒險を禁じ、やたら消極的に「存在」することのみを強いる制度が錯索して人間一人一人をとり囲むようになってきたものだから、今の大学生、かわいそうになっちゃいますね。まるでカバンもつて教室から教室へと走りまわる、かつての学園生活の延長でね。先生の方もそういう人生しか知らない戦後派が抬頭してきて、そういう意味のないしめつけばかりきびしくなっ

てきて、いやはや不毛なものです。お互いに自分の意思に逆らいつつ自分で自分を縛っちゃうんだから、たいした疎外化ではありませんが、自己疎外システムの自己生産が社会的存在の営みとなつちやつてる以上、この社会の中で穩やかに適應した生き方をしようとする以上、この社会という虚構の制度の自己増殖に加担していうとする限り、（以下原稿不明）

疎外の時間的裝置が、時計ないし、時間割であり、空間的裝置が單数ないし複数の準拠集團であるのは言うまでもありません。「クラブ」の「練習」だけはこうした疎外を超える契機としたのですが、これも社会的存在であることを要求され、タイムテーブルの中にはっきり縛りつけられ、合法的な団体として登記されている限りは無理なんでしょうか。新興宗教集團に対する「世間」の目のつめたさというか拒否反應の強さは、今日の安定した社会が持つ「異人」に対する不信、それに対する、体制側としての無意識の防衛機構の顕在化された部分でしょう。多様化した社会と一いつつ、その実この上なく抑圧が強く、一元的価値を無言の内に押しつける肥大化した社会、変化そのものを社会的にワク付けし、一見変化の自由を与えておきつつ、そのワク組みは日に日に強化されていく今の社会。そしてがんにがためにされてゆく自分自身をよしとしなければ生きていけない人間たち、この疎外の虚構性に気づいた人たちを、それが他人の迷惑になろうとなるまいと摘発して、制圧する「社会的良識」。

そうした中で、慣例を破って、朝五時から二時間のトレーニングを行ない、夜稽古はなしにする、という今回の秋合宿の試みは、その志や良し。願わくは、合宿という、二十四時間がこちら側の自由になる、人生長しといえども今においては手に入らない好機を充分に利用して、大いに冒険をすること、なのでしょう。ビタ一文くれないOB会なぞ無視して、慣例というものにおしつぶされることなく、慣例を勝手に利用し、破って行く楽しみを味わうより他には、現状打破の可能性はない。大いにOB会とケンカすべし。従順を強いて装って、内攻するのは不健康です。とはいえ、みなさん、ちっぼけな冒険もおきらいな、健全な青少年が多くてねえ。伊豆マラなんて行けば楽しいし、一生の思い出位にゃなるのにさ、何にこわがって避けるんだらう。民主主義教育と、利己主義に、事なかれ主義が結びついた社会の産物が当然とることになる理想的な行動様式の見本。まじめで小心でりちぎで、しかし自己中心の子供たちは、社会の期待の中で、自分に良かれと思って自分の芽をせっせとつんでいる。

一番大切なのは逸脱の仕方を教えることか。むかしのOBはえなかったなあ。留年はせずに、稽古だけして酒飲んでるなんて。でも今は小心翼翼として勉強にはげんでるつもりのやつが留年する時代です。留学して学業が一年おくれたダケの女の子を、年令のみで採用選考対象からはずす、今の会社と同じでね、ほんとどこの会社いっても、も少し有能な女子職員やとえば案になるはず

なのに、それやらので、アホなことしとるわ。

あまり去年から進歩しておりませんねえ。なんだかあなた去年も同じこと書いてましたよ。それに今年は一層ハクリョクもなくなってきたし、どうしたんですか。いやあどうも年ですねえ。老兵は去りゆくのみですわ。老兵たってあなた今まで兵隊さんだったことあるんですか。いやまあOBていうのはもうだめだということでも田中先生はうちはOBでもってる部だと。あ、それじゃ、それもそろそろ終りかな。やっぱり戦後すぐとか紛争中とか、高度経済成長期みたいな時に人格形成した人しか、誇れるOBにはなれんですよ。まあそう悲観的になりなさるな。けど今回の原稿はつまらないから、これ以上はお断りしますよ。原稿料もダメですよ。とにかく、今すごい赤字なんですから。なにせ赤門の印刷代去年のも払ってないっていうじゃないですか。それに郵便料金もあがるというのに、OB会からは一向に新規の補助金はおりてこないし。せめてOBへの通信費ぐらいはOB会が持ってくれても良いでしょうに。うんいやそれはわかってんだけどさ、オレみたいな下っぱが少々騒いでもダメなんだよ、な、酒のませてやるから、ここはひとつあんまり不平をいわずにマルくおさめてくれまいかなにをカンケイないことってんですか。コンパを宴会場でやるのはやめるとか、部費をもっと儉約しろとか口うるさいばかりで何もおごってくれないくせして。このケチ。どっちがケチだ。それをいうなら月五万で暮してみろ今どき……僕は月三万ですよ。

それにSKさんなんか自宅だけど完全独立会計ですよ。部費払うために部活動休んでバイトしてるKBさんだっているんだし……
(一体何の話や、以下内容不明につき没、編集部)